

ロシア出張報告

今回、経済産業大臣として約10年振りにロシアを訪れ、4月の日露首脳会談の成果を具体的に進めるため、ウリュカエフ経済発展大臣、ガルシュカ極東発展大臣、ノヴァク・エネルギー大臣らと会談を行いました。今回も1泊4日というハードスケジュールでしたが、十分な成果があったと思います。

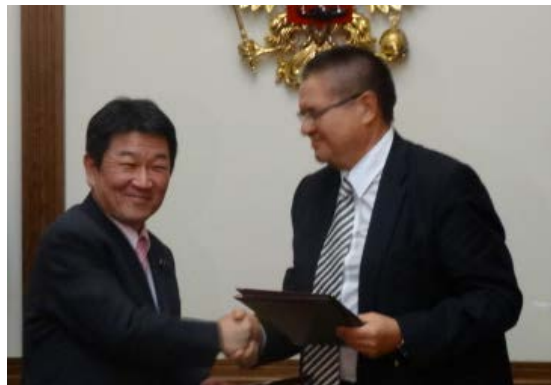
ウリュカエフ経済発展大臣とは、(1)イノベーション分野や医療、都市環境分野での協力と、(2)中小企業分野での協力につき、それぞれ覚書に署名を行いました。また、医療分野や省エネルギー分野で日露企業等の間で4本の合意文書が交換されました。さらには、来年3月に東京で開催される「日露投資フォーラム」には、ウリュカエフ大臣がロシア経済界を代表する企業家を伴って参加し、日露首脳会談で取り上げた35のプロジェクトをさらに進めていくことで合意しました。また、同行して頂いた日本企業の幹部を代表して、我が国の「日露交流促進官民連絡会議」について、代表世話人の坂根正弘コマツ相談役より説明をいただきました。

ガルシュカ極東発展大臣には、プーチン大統領が最重要課題と位置付ける極東地域の発展について、我が国企業は、エネルギー開発や自動車組立から省エネ、医療等様々な分野で貢献ができることについて理解を得ました。また、「日露交流促進官民連絡会議」で極東・東シベリア開発がテーマの一つになっていることを説明し、両国関係強化について一致しました。

ノヴァク・エネルギー大臣とは、天然ガス分野について、ロシアでのLNGプロジェクトの実現に向けて協力していくことに合意しました。その際、私からは、競争力のある価格(つまり安価!)でLNGが供給されることが重要であることを強調しました。また、省エネルギー・再生可能エネルギー分野について、我が国の技術を活かして省エネが大きな課題となっているロシアの電力設備近代化等のプロジェクト実現を支援していくことを確認しました。日露関係機関の間で覚書が署名されました。

4月の安倍総理の訪露により、強化への弾みがついた日露経済関係の一年を締め括り、来年の一層の日露経済関係拡大につながる出張となったと考えています。

年明けは中東出張、ダボス会議出席を予定しています。来年の干支は「午(馬)」。馬は古くから神の使いとして、幸福を運んでくる動物とされています。午年にあやかり、2014年が日本にとって、皆様にとって飛躍の年になることをお祈り致します。すばらしい新年をお迎え下さい。



(ウリュカエフ経済発展大臣と覚書に署名・交換)



(ガルシュカ極東発展大臣と会談)



(ノヴァク・エネルギー大臣と会談)